



加古だより

加古小学校通信
令和5年9月号
No.18 (334号)

全国レベルの放送ってこんなにすごい！

校長 吉田 博明

<東播磨高校放送部はすごい！>

加古小学校と同じ稲美町にある、兵庫県立東播磨高校。硬式野球部が甲子園に出場するなど活躍している学校ですが、実は放送部も、とてもすごい活動をしているのです。「放送部の甲子園」と言われる、「NHK 全国高校放送コンテスト（N コン）」で、昨年度創作ラジオドラマ部門で全国優勝を果たしています。また今年の夏の甲子園、閉会式での司会をしたり、軟式野球の全国大会で司会をしたりしています。稲美町でも、人権大会（こころあった会）などで司会をしているのを見た人もいます。そんな様子を見ていて、こんな上手な放送が小学生にもできたらいいな、とずっと思っていました。

そこで、思い切って東播磨高校へ連絡し、小学校高学年との交流をお願いしてみました。すると快くOKしていただき、東播磨高校放送部と5、6年生とのアナウンス教室が実現しました。

<さすが！の放送>

たった1時間だったので、あっという間に終わってしまったけど、授業の中身は早口言葉や発声練習、実際の放送体験など盛りだくさん。全部、高校生の方が考えてくれたんだそうです。6年生の授業の最後は、ラジオ放送の最後にあるように、「この時間の担当は、東播磨高校放送部～でした。」と締めくくり、さすが、と思いました。授業の中の、高校生たちのよく通るきれいな声や明るい笑顔、テンポのいい進行に、みなさんもノリノリで取り組めました。中でも、高校生が見本を見せてくれた時の素晴らしさ！ぜひ、これからの校内放送に活かしてほしいなと思いました。加古小学校の卒業生や稲美町の卒業生の人もいて、とても楽しく中身の濃い時間になりました。東播磨高校放送部のみなさん、ありがとうございました。

<児童の感想>

- 放送部のみなさんがとても笑顔だったし、声も大きくて、とても聞きやすかったです。私まで笑顔になれるほどの、とても明るい笑顔で素敵だなと思いました。
- 図書室の放送などの時、顔は本当だったら見えないけど、ずっと笑顔でやっていることがすごいと思いました。二つ目は声です。普段の声と放送のときの声を使い分けられるところがすごいと思いました。
- 今日から教わったことを生かして放送したいと思います。それに東播磨高校放送部にも興味がわきました。放送、これから頑張ります。今日は本当にありがとうございました。
- あんなにうまく放送できないし、できる人を見たことがないので、とてもすごいなと思いました。放送している時もしていない時もずっと笑顔で良いなと思いました。私もあんなふうに、もっと放送をうまくできるようになりたいと思いました。